

事業者名	長野県								
機器名	電磁波評価システム								
写真									
特徴・用途	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴 電磁波ノイズの測定・評価 ・用途 国際規格に適合する製品開発の支援 								
設置場所	長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成28年12月	3	0	0	20	0	0	0	20
	平成29年1月	19	0	14	115	0	0	1	130
	平成29年2月	20	0	29	112	0	0	2	143
	平成29年3月	20	6	15	117	0	0	0	138
	平成29年4月	19	0	22	105	0	1	10	138
	平成29年5月	20	0	29	105	0	1	2	137
	平成29年6月	16	0	36	102	0	1	2	141
	平成29年7月	17	0	28	107	0	1	4	140
	平成29年8月	19	0	26	107	0	1	5	139
	平成29年9月	18	0	29	109	0	1	2	141
	平成29年10月	18	0	31	90	0	2	6	129
	平成29年11月	15	1	29	92	0	2	3	127
	平成29年12月	19	0	30	133	0	2	1	166
	平成30年1月	19	0	33	133	0	2	0	168
	平成30年2月	17	0	24	122	0	2	4	152
	平成30年3月	18	0	23	105	0	2	0	130
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・国際規格に対応した一連の試験を行うための操作方法が簡単になり、また1回の測定にかかる時間も短くなった。更新前と比較し、効率的に試験を進めることができ助かっている。 ・新たに追加されたアンテナ特性評価の機能は、アンテナ固定角度を更新前に比べて正確に設定でき、測定精度が向上した。 ・グレートサークル法によるアンテナ特性評価は、特性を視覚的に表示することができわかりやすい。 ・電磁波ノイズ測定では、更新前は低い周波数用アンテナと高い周波数用アンテナの2本を取り替えていた。更新後は1本のアンテナで、低い周波数から高い周波数まで測定でき、アンテナの取替手間がなくなった。このため、電波暗室の予約時間が短縮し、試験費用が削減された。 ・電磁波ノイズ測定では、測定周波数を設定すれば、後は自動測定ができる。初めて利用する人でも十分に操作できる。 ・電源ケーブルに伝わるノイズを測定するための相(極性)切替が手動から自動になり、機器操作性が向上した。 ・これまで1日かかっていた試験が半日で終了するため、他の仕事にも手がつけられるようになった。 								
補助事業概要 の広報資料	http://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-041koho.pdf								